

## 2024年度事業報告

### 活動報告

#### 1. 全体活動(共通の課題への対応)

##### (1) 会員の研鑽、交流の促進、土壤医の会の組織化

###### ①土壤医等資格登録者数の増加と登録更新のための継続研鑽機会の拡大

- ・各土壤医の会による農協および農協関連施設や県市町村の当該部局、農業高校等への検定試験のPR活動や延べ17試験準会場での運営尽力により、検定試験受験者総数は3,539名と2023年度を308名上回った(合格者263名増)。

###### ②「土壤医の会通信」の発行による会員間の情報交流の促進

- ・会員間の情報交流促進をねらいとして「土壤医の会通信」を年度内に3回発行した。内容は下表のとおり。

|              | NEWS                                                                                                               | 土壤医の会紹介           | 土壤医活躍中              |
|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|---------------------|
| 16号<br>4/24  | ・2023年度検定試験合格速報、土壤医の会入会案内、24年度の試験日程の合格発表<br>・東京土壤医の会設立のお知らせ<br>・イベントレポート(首都圏土壤医の会主催土壌断面調査)                         | 日東エフシー<br>土壤医の会   | (株)新進 五十嵐学さん        |
| 17号<br>8/30  | ・優良土づくり推進活動表彰の募集<br>・24年度検定試験ポスター、パンフレットの紹介<br>・日本農業新聞への土壤医執筆記事の連載予定の告知<br>・WEB上の土壤医に関する一般記事<br>・23年度検定試験の職業別受験者動向 | －                 | J A全農ふくれん<br>久保成人さん |
| 18号<br>12/20 | ・第8回全国交流大会の受賞者と受賞内容と受賞ポイントの紹介<br>・2024年度地域重要問題研究会<br>・助成事業の実施状況と活用依頼                                               | 片倉コープアグリ<br>土壤医の会 | 札幌土壤医の会<br>柴田敏光さん   |

###### ③地域土壤医の会の組織化を通じた研鑽や交流の促進

- ・2025年1月26日に新たに十勝土壤医の会が発足した。

##### (2) 土壤医検定試験のPR等を通じた土づくり普及活動の推進

- ・地域土壤医の会がより活動しやすくなるように、助成対象事業の運用について整理し、周知を図った。年度の後半には、再度、助成制度の積極活用(助成事業の実施)を呼び掛けた。助成事業として①土壤医検定試験のPR活動、②正会員以外を対象とした研修会の

活用、③農業高校等への出前研修等が実施された。

(詳細は、下記の 2. 部会活動(3)土づくり普及部会に記載)。

### (3) 土づくり活動の社会的評価の向上

#### ①優良土づくり推進活動の表彰事業

- ・農水省から一定の評価(賞状の授与)を得て行う本事業は、土づくり活動の社会的評価の向上のために重要な活動である。地域土壤医の会や事業体土壤医の会を中心に、日頃の活動成果の取りまとめをお願いし、応募総数 33 件を得た。これらの中から農水省農産局長賞 個人 1 題、土壤協会会長賞 個人 1 題 土壤医の会 1 題、 全国協議会会長賞 個人 4 題 土壤医の会 2 題が選定された。

(詳細は、下記の 2. 部会活動(1)研鑽部会に記載)

#### ②マスコミ等へのPR

- ・上記優良土づくり推進活動の表彰事業については、事前に業界関係新聞社への告知を行い、一部媒体にて記事化された。記事については、各土壤医の会へ周知を図った。
- ・「日本農業新聞」紙面にて土壤医資格者によるリレーコラムの連載(全 4 回、9 月毎水曜日)が、野口会長他協議会幹事の執筆により実現した。農業関係者に一定の影響のある媒体を通じ、土壤医の認知度を高めることができた。

#### ③講師として派遣可能な土壤医の会会員リストの作成

- ・会員の活躍の場を広げ、併せて土壤医の認知度向上を図るために、講演等の要望に対応可能な講師リストを各土壤医の会毎に作成し、「土壤医ネットワーク」の全国協議会 WEB にて一括公開とした。
- ・年度末現在にて 14 土壤医の会のリストを掲載した。

#### ④地域土壤医の会の活動の広報

- ・14 地域土壤医の会により年間事業計画が作成され、日本土壤協会ウェブサイト(土壤医ネットワーク「地域土壤医の会の案内」)に掲載した。  
(前年度 7 地域の土壤医の会から倍増)
- ・各土壤医の会が開催する講演会等の開催情報を土壤医ネットワークにて有資格者へ発信。

## 2. 各部会の活動

### (1) 研鑽部会

日本土壤協会、土づくり推進フォーラムと共同して全国交流大会や研修会等を実施した。

#### ①第 8 回全国交流大会の開催 (日本土壤協会との共催)

11 月 15 日(金) 於: 文京区 全国家電会館

参加者 180 名 (web 参加を含む)

- 内容:
- a. 2024 年度事業の経過報告
  - b. 優良土づくり推進活動の表彰
  - c. 上記表彰受賞者による活動成果の発表

| 受賞名           | 受賞対象                                             | 受賞者      |
|---------------|--------------------------------------------------|----------|
| 農林水産省農産局長賞    | 土壌診断に基づく土づくりとサトウキビ生産性の向上                         | 吉田 晃一氏   |
| 日本土壌協会<br>会長賞 | 北海道上川郡当麻町のすいかハウス促成栽培におけるリン酸・カリ低減指導               | 梅田 武志氏   |
|               | アスパラガス栽培 5 年目に有機 JAS 栽培認証基準への栽培移行                | 小松原 幸二氏  |
|               | 農業高校を対象とした土づくり実習及び講師活動について                       | 信州土壌医の会  |
|               | 「札幌土壌医の会」の会員の土作りに関わる知識・技術の向上活動                   | 札幌土壌医の会  |
| 土壌医の会全国協議会会長賞 | 高糖度トマトの低ストレス栽培の新たな手法の開発                          | 菅野 俊幸氏   |
|               | 寒冷地における亜リン酸入り肥料施肥による初期生育向上及び、リン酸過剰土壌に対しての減リン銘柄定着 | 渡邊 泰平氏   |
|               | 十勝地区玉ねぎ育苗ハウスにおける土づくり指導                           | 小山田 弘樹氏  |
|               | 土壌診断結果をもとにした小豆の施肥改善（クリーン農業への取組）                  | 内海 宏信氏   |
|               | 作物栽培の基本的な土づくりについて                                | 首都圏土壌医の会 |
|               | 保育園・こども園において土づくりから始まる菜園の講師活動                     | 広島土壌医の会  |

## ②研修会の開催、講演会に対する後援

### (ア) 研修会の共催

土壌医資格登録者や合格者を対象としたレベルアップ研修会

2025 年 1 月 14 日（火）～15 日（水） 全水道会館（日本土壌協会と共催）

参加者 70 名（web 参加を含む）

1 日目・土地利用型作物の土壌診断と改善対策の実際

講師：長谷川雅義氏 日本土壌協会専門委員

・園芸作物の土壌診断と改善対策の実際

講師：野口勝憲氏 日本土壌協会専門委員 土壌医の会全国協議会長

2 日目・施設園芸の土壌診断と改善対策の実際

講師：市原知幸氏 岐阜県西濃農林事務所 農業普及課長

・果樹の土壌診断と改善対策の実際

講師：吉田清志氏 あづみ農協 指導統括

(イ) 土づくり推進フォーラムの講演会、シンポジウムに対する後援

- ・土づくり推進フォーラム講演会

テーマ：「土壌の可給態窒素レベルに応じた施肥」

2024年8月8日(木)：千代田区日比谷図書文化館

土壌医資格登録者の参加者 199 名（/279 名）

- ・土づくり推進フォーラムシンポジウム：

テーマ：「国内有機資源の利活用の現状と将来展望」

2024年12月19日（木）千代田区日比谷図書文化館

土壌医資格登録者の参加者 121 名（/188 名）

## (2)調査研究部会

### ①地域重要問題研究会の開催

茨城土壌医の会との共催にて、「土壌診断に基づいた土づくり」をテーマとした研究会を開催した。web 聴講参加者を含め 236 名の参加を得た。

日時：日時 10 月 3 日（木）13:00～17:00 場所；茨城県土浦市

演題および演者：

- ・「土壌診断の現状と課題」

野口 勝憲氏（茨城土壌医の会）

- ・「緑肥を活用した土づくりと減化学肥料栽培」

唐澤 敏彦氏（中日本農研センター温暖地野菜研究領域

有機・環境保全型栽培グループ グループ長）

- ・「茨城県の水田土壌の実態と水稻の高温障害対策に向けた土づくり」

宮本 寛氏（茨城土壌医の会、茨城県農業総合センター）

- ・「サツマイモに発生する病害虫・生理障害」

渡邊 健氏（東京大学大学院 植物医科学研究室 特任教授）

### ②土壌診断の推進

農林水産省の補助事業である「AI による土壌診断技術の開発」事業に対して、調査研究部会を中心として対応が図られた。

## (3)土づくり普及部会

- ・農業高校等への出前研修、会員以外を対象とした土づくり普及研修や土壌医検定試験・資格登録制度の認知度向上等のための活動が推進された。
- ・このうち、今年度資格試験の開催案内のリーフレット配布については各土壌医の会の尽力により延べ 54 か所以上、合計 3, 175 部が関係各所に配布された。
- ・その他を含む 2024 年度の助成対象事業案件数（過年度実施を含む）は、7 土壌医の会から延べ 21 件となっている。助成活動案件は下表のとおり。

① 農業高校等への出前研修の実施

4 土壌医の会 延べ 11 件 110,000 円

| 実施主体    | 実施日                                          | 実施内容                                                 |
|---------|----------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| 近畿土壌医の会 | 2024 年 6 月 11 日<br>2025 年 1 月 10 日           | 大阪府立農業大学校にて土壌医検定 3 級及び 2 級受験対策講習 受講者 17 名            |
| 信州土壌医の会 | 2024 年 12 月 19 日<br>1 月 10 日、16 日<br>2 月 6 日 | 南安曇農業高校にて 4 回土壌医検定試験 3 級対策研修を実施。受講者 30 名             |
| 新潟土壌医の会 | 2024 年 12 月 24 日                             | 新潟県農業大学校にて土壌医検定試験対策研修（2 及び 3 級向け）受講者 6 名             |
| 大分土壌医の会 | 2025 年 1 月 16 日<br>1 月 23 日                  | 大分県立農業大学校にて、過去問題を含めて実践形式で土壌医検定試験 3 級対策研修を実施 受講者 27 名 |
| 信州土壌医の会 | 2025 年 1 月 25 日<br>2 月 1 日、                  | 上伊那農業高校において、2 回土壌医検定試験 3 級対策研修を実施 受講者 8 名            |

② 主に会員以外の方を対象にした研修会の開催

5 土壌医の会延べ 11 件 274,620 円

| 実施主体     | 実施日                                     | 実施内容                                                                                                                                                   |
|----------|-----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 広島土壌医の会  | 2024 年<br>4 月 24 日                      | 土壌診断の基礎実習（実践事例の講演、貫入式土壌硬度計などを用いた実演）<br>参加者 24 名                                                                                                        |
| 首都圏土壌医の会 | 2024 年<br>6 月 8 日                       | zoom オンライン開催にて「汚泥肥料研修会」を実施。未利用資源となっている下水汚泥肥料に関し利用の意味と価値について講演。参加者からの意見をもとに討論。<br>参加者 397 名                                                             |
| 広島土壌医の会  | 2024 年<br>8 月 11 日                      | 広島県三原市の農家圃場にて<br>・土壌診断の必要性、畑の栽培概要と土壌化学性分析結果の説明<br>・土壌サンプリング実習、土壌の物理性診断実習<br>・R3～4 年、広島県内の土壌診断調査結果を情報共有<br>参加者 8 名                                      |
| 首都圏土壌医の会 | 2024 年<br>8 月 31 日                      | zoom オンライン開催にて「土壌調査データの読み方と処方箋の作成」を実施。土壌調査に必要な基本的知識、土壌調査の準備、実施方法、処方箋の書き方を講演。講演後、質疑応答。<br>参加者 200 名                                                     |
| 首都圏土壌医の会 | 2024 年<br>9 月 7 日<br>2025 年<br>1 月 25 日 | 大門小学校の学校ファームでの土づくりの指導<br>9/7 第 1 回 ①講座「～ 野菜作り・花づくりに適した土づくり」<br>②ワークショップ「秋野菜の畑づくり」「夏野菜の全撤去および秋野菜の畑づくり」／ハーブ花壇の土づくり<br>1/25 第 2 回 肥料と堆肥、土づくり等<br>参加者 20 名 |
| 首都圏土壌医の会 | 2024 年<br>11 月 12 日<br>～                | 土壌医検定 2 級試験対策 Zoom 講習会として、合計 7 回開催。日本土壌協会主催の検定試験対策研修会で使用するテキストを使用し、テキストの項目毎にポイントを解説。<br>受講者 40 名                                                       |
| 大分土壌医の会  | 2024 年<br>12 月 7 日～                     | 土壌医 2 級テキストによる研修 延べ 8 回<br>受講者 10 名                                                                                                                    |

|          |                          |                                                                                                   |
|----------|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 首都圏土壌医の会 | 2024 年<br>12 月 20 日<br>～ | 土壌医検定 3 級試験対策 Zoom 講習会として合計 9 回開催。日本土壌協会主催の検定試験対策研修会で使用するテキストを使用し、テキストの項目毎にポイントを解説した。<br>受講者 40 名 |
| 信州土壌医の会  | 2025 年<br>1 月 9 日        | 上伊那農業協同組合にて土壌医検定 2 級、3 級の研修。<br>受講者 20 名                                                          |
| 沖縄土壌医の会  | 2025 年<br>1 月 11 日       | R6 土壌医検定試験対策勉強会<br>・土壌化学性について・土壌物理性・生物性について<br>受講者 6 名                                            |
| 首都圏土壌医の会 | 2025 年<br>3 月 9 日        | 群馬県板倉町現地圃場における現地研修会<br>土壌断面調査の方法を学ぶ（実習）<br>断面調査、土壌分析の結果からのディスカッション<br>参加者 16 名                    |

③ 重点層への土壌医検定試験や土づくり重要性 PR 4 土壌医の会延べ 12 件 77,807 円

| 実施主体     | 実施日                                 | 実施内容                                                                                                    |
|----------|-------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 広島土壌医の会  | 2024 年 3 月 22 日                     | JA 全農ひろしま西日本営農技術センター土壌医検定試験のパンフレットの配布・説明、広島土壌医の会の活動概要、データ駆動型土壌調査（R3～4 年度）の結果説明、土壌医検定試験準会場設置に向けての相談、     |
| 新潟土壌医の会  | 2024 年 8 月 23 日                     | J A えちご上越頸南営農センター及び現地ほ場にて<br>（1）水稻硫黄欠乏症の状況、対策事例の紹介（2）土壌医の紹介、土壌医の会の活動 PR、今年度検定試験の案内<br>参加者 38 名          |
| 新潟土壌医の会  | 2024 年 10 月 13 日                    | 新潟食料農業大学にて水田土壌における硫化水素発生診断技術及び酸化鉄の施用による鉄還元菌窒素固定能の増強について講演の後、新潟県土壌医の会及び土壌医検定試験について紹介、受験及び入会を促した。参加者 69 名 |
| 首都圏土壌医の会 | 2024 年 8 月 19 日～<br>10 月 19 日       | 市町村、県農業指導センター、農業高校、JA など 7 回、21 か所を訪問し、土壌医検定試験のポスター及びパンフレットを配付し、土壌医検定試験の内容を説明。                          |
| 高知土壌医の会  | 2024 年 11 月 7 日<br>2024 年 11 月 12 日 | 高知県担い手育成センターおよび 高知食糧(株)への土壌医検定試験のパンフレットの配布・説明、高知土壌医の会の活動概要の説明等                                          |

④ 主に会員以外の方を対象にした測定・診断相談会の開催 0 件

### 3. 定例会議等の開催

(1) 第 1 回幹事会 2024 年 7 月 18 日(木)14:00～16:30 千代田区神保町区民館

- ・議 題: 1. 2023 年度事業報告(案)及び収支決算(案)について
- 2. 2024 年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- 3. 報告事項、その他

(2)第2回幹事会 2024年11月15日(金)13:00～14:00 全国家電会館

- ・議 題:1. 2024年度事業の経過報告について
- 2. 全国交流大会について

(3)第8回全国交流大会 2024年11月15日(金)14:30～17:20 全国家電会館  
(詳細 前掲)

## 2024年度「土壌医の会全国協議会」収支決算

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

| 科目         | 2024年度<br>予算額(1) | 2024年度<br>決算額(2) | 差異<br>(2)－(1) | 参考<br>2023年度<br>決算額 | 備考                                                           |
|------------|------------------|------------------|---------------|---------------------|--------------------------------------------------------------|
| 1. 収入の部    |                  |                  |               |                     |                                                              |
| (1) 会費     | 5,392,000        | 5,364,000        | -28,000       | 5,324,000           | G会員128名(←123) S会員675名(←688)<br>2023年度未入にて2024年度繰入れ34,000円を含む |
| (2) 事業収入   | 0                | 0                | 0             | 0                   |                                                              |
| (3) 雑収入    | 30               | 1,825            | 1,795         | 22,034              |                                                              |
| (4) 前年度繰越金 | 3,592,211        | 3,592,211        | 0             | 3,029,955           |                                                              |
| 収入合計 ①     | 8,984,241        | 8,958,036        | -26,205       | 8,375,989           |                                                              |
| 2. 支出の部    |                  |                  |               |                     |                                                              |
| (1) 事業費    | 1,250,000        | 1,241,210        | -8,790        | 973,569             |                                                              |
| 調査研究会費     | 200,000          | 139,318          | -60,682       | 196,640             |                                                              |
| 全国交流大会費    | 250,000          | 499,465          | 249,465       | 230,574             | 受賞者の増加による旅費増                                                 |
| 研修会開催補助    | 50,000           | 110,000          | 60,000        | 55,000              |                                                              |
| 地域土壌医の会補助  | 750,000          | 492,427          | -257,573      | 491,355             | 内、事業推進計画作成事業費14土壌医の会14万円                                     |
| (2) 幹事会費   | 400,000          | 503,044          | 103,044       | 423,760             |                                                              |
| (3) 刊行物購読費 | 1,868,000        | 1,788,000        | -80,000       | 1,828,000           | 2024年度購読費60,000円が未清算                                         |
| (4) 広報費    | 100,000          | 41,694           | -58,306       | 0                   |                                                              |
| (5) 協会負担金  | 2,300,000        | 2,300,000        | 0             | 1,500,000           | 2024年度未払い300,000円を含む                                         |
| (6) 雑費     | 60,000           | 65,280           | 5,280         | 58,449              | zoomアカウント2回線 46,750円                                         |
| (7) 予備費    | 3,006,241        | 0                | -3,006,241    | 0                   |                                                              |
| 支出合計 ②     | 8,984,241        | 5,939,228        | -3,045,013    | 4,783,778           |                                                              |
| 3. 収支差 ①－② | 0                | 3,018,808        | 3,018,808     | 3,592,211           | 次期繰越金                                                        |